

研究課題名：	当院における周術期患者状態（フレイル）とせん妄の関係
所属(診療科等)：	公立昭和病院 麻酔科
研究責任者(職名)：	野中 明彦（部長）
研究期間：	2019年7月1日～2020年3月31日
研究目的と意義：	周術期の医療安全を担う上で麻酔科の役割は大きい。周術期（入院から回復までの一連の期間）にせん妄（意識水準の低下）を起こす患者さんは多く医療者側の負担も増加する。あらかじめせん妄の生じやすい患者さんを知ることができれば手術前から対策を講じることが可能である。周術期の患者さんの安全性の向上は、周術期の質の向上につながる。患者さんの状態、特にフレイル（健常な状態と要介護状態の間）の状態は周術期のせん妄の頻度と関連している可能性が高いため、その詳細を検討することでより手術の安全の質の向上に貢献できることが期待される。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2014年1月1日から2019年12月31日までに当院で手術を受けられた患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 年齢、性別、全身状態分類、術式、診療科、麻酔方法、手術日、術前の状態、せん妄の有無についての記録等 ●研究方法 当院手術室にて患者診療録より後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：野中 明彦（麻酔科医師） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>